

# 小規模企業景気動向調査

[平成27年1月期調査]

～再び悪化を示した小規模企業景況～

2015年2月25日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2015年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…再び悪化を示した小規模企業景況…◇

1月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の採算および業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅悪化、また、売上額DIは大幅に悪化し、資金繰りDIは不変であった。経営指導員からは、①原油価格の下落に伴うコスト減少など好材料もあるが、円安の影響で原材料価格の高騰が続き、収益を圧迫している、②景気に明るさは見られず、地方経済は更なる悪化をたどっているように感じるなど、引き続き景気低迷を指摘する報告があった。

## <製造業> ◇…一部に受注増の動きがみられるものの、依然、コスト増に苦しむ製造業…◇

製造業は、売上額DIは小幅に悪化したものの、採算、資金繰りおよび業況DIは多少改善した。経営指導員から、好転材料として、①自動車関連は、引き続き、海外・国内需要が高く24時間体制で工場が稼働しており、景況感は良好である、②金属加工関連は、大手企業好調のため、受注額が増えているなどの報告があった。また、悪化材料としては、電気料金の値上げ、原材料価格の高騰など、引き続きコストが増加しており、収益を圧迫しているとの報告があった。

## <建設業> ◇…受注の減少、資材価格・人件費高の影響で、大幅に悪化した建設業…◇

建設業は、採算、資金繰りおよび業況DIは多少悪化、また、売上額DIは10.5ptもの悪化を示した。経営指導員から、悪化材料としては、①引き続き、資材価格や人件費の高騰により、収益が確保できない、②住宅関連の受注が減少しているなどの報告があった。また、好転材料としては、①土木工事関連で、一部地域で公共工事や災害復旧工事の受注があり、多忙となっている、②リフォームや住宅修繕工事の受注があるなどの報告があった。

## <小売業> ◇…個人消費の低迷や仕入価格の高止まりにより、厳しさが続く小売業…◇

小売業は、採算、資金繰りおよび業況DIは多少悪化、また、売上額DIは大幅に悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、①食料品関連で、仕入価格の高止まりにより採算が悪化している、また、客単価が低下し売上額が減少している、②衣料品関連で、低価格販売の大型店に太刀打ち出来ない、③個人消費の低迷により、売上額が減少しているなどの報告があった。一方、好転を示す報告は少なかった。

## <サービス業> ◇…家計の節約志向が続くなか、悪化を示したサービス業…◇

サービス業は、採算、資金繰りおよび業況DIは多少悪化、また、売上額DIは大幅に悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、①宿泊関連で、冬季の閑散期で利用客が減少し、売上額が低下した、②家計の節約志向が続く中、客数や客単価が低調に推移しているなどの報告があった。また、好転材料としては、①クリーニング業で、原油価格の下落により燃料費が低下し、採算が好転している、②飲食関連で、宴会需要が増加した事例があったなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 15.1	▲ 21.4	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 9.4	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 12.8	▲ 10.5
採算	▲ 27.9	▲ 29.9	▲ 2.0	▲ 26.7	▲ 25.2	1.5	▲ 23.0	▲ 26.9	▲ 3.9
資金繰り	▲ 23.1	▲ 23.3	▲ 0.2	▲ 21.4	▲ 18.8	2.6	▲ 19.5	▲ 20.5	▲ 1.0
業況	▲ 27.6	▲ 28.8	▲ 1.2	▲ 26.5	▲ 24.6	1.9	▲ 16.3	▲ 20.4	▲ 4.1

業種	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 30.0	▲ 35.9	▲ 5.9	▲ 21.7	▲ 27.5	▲ 5.8
採算	▲ 36.0	▲ 39.5	▲ 3.5	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 2.0
資金繰り	▲ 29.9	▲ 30.8	▲ 0.9	▲ 21.6	▲ 23.2	▲ 1.6
業況	▲ 40.1	▲ 41.1	▲ 1.0	▲ 27.7	▲ 29.4	▲ 1.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。